

安全データシート

改訂日: 2020年11月13日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

ふっ化カリウム溶液

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

FC0564S

整理番号

別表1. 当SDSの適用品名一覧

10%ふっ化カリウム溶液

5%ふっ化カリウム溶液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

別表2 各ふっ化カリウム溶液濃度とGHS分類及びラベル要素対照表

GHS分類及びラベル要素	ふっ化カリウム溶液濃度(品名)	10%ふっ化カリウム溶液 5%ふっ化カリウム溶液
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
環境に関する有害性	水生環境有害性 短期(急)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢)	区分3
ラベル要素	絵表示又はシンボル	なし
	注意喚起語	警告
	危険有害性情報(コードのみ)	H303 H402 H412
	注意書き(※1) (コードのみ)	
	【安全対策】	P273
	【応急措置】(※2)	P312
	【保管】(※2)	
	【廃棄】(※2)	P501

※1) 表中にて、危険有害性情報と注意書きはコードのみ記載しております。各コードに割り当てられた文言は、下記をご参照ください。

※2) SDS及びラベル記載の危険有害性情報・注意書きについて、弊社の製品管理方法、弊社製品の化学的性質に基づき、

GHSガイダンスに従い、コードの文言を省略又は変更する事があります。

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ(経口) (H303)

水生生物に有害 (H402)

長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き

【安全対策】

環境への放出を避けること。(P273)

【応急措置】

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

該当情報なし。

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

含有量

混合物

ふっ化カリウム溶液

KF

CAS RN: 7789-23-3

ふっ化カリウム溶液 100% (①ふっ化カリウム、②水)

※各製品の含有量は、別表3. 濃度表を参照

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(1)-322 / 公表

別表3. 濃度表

表示濃度(品名)	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量 (重量%)
10%ふっ化カリウム溶液	ふっ化カリウム (CAS RN: 7789-23-3)	10	水 (CAS RN: 7732-18-5)	90
5%ふっ化カリウム溶液		5		95

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲込んだ場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
水と石鹼で洗うこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

特有の消火方法
消火を行う者の保護

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
棒状放水
不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
アルカリに安定、酸により分解してフッ化水素ガスを発生
強く加熱される場合、分解が起こり、強い腐食性のフッ化水素が生じる。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源を取り除く。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境中に放出してはならない。
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

安全取扱注意事項

接触回避

保管

安全な保管条件

容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
飲み込まないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。

酸から離しておくこと。
冷所、換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。
施錠して保管すること。
ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策

未設定
未設定
未設定
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

衛生対策

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色澄明
臭い	無臭
融点・凝固点	該当情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし
可燃性	該当情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	該当情報なし
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	該当情報なし
pH	アルカリ性
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	該当情報なし
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	該当情報なし
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	アルカリに安定、酸により分解してフッ化水素ガスを発生 強く加熱される場合、分解が起こり、強い腐食性のフッ化水素が生じる。 水と接触するとき、加水分解が起こり、強いアルカリ性反応で、腐食性の水溶液が生じる。
避けるべき条件	強く加熱
混触危険物質	酸、水
危険有害な分解生成物	フッ化水素ガス、腐食性の水溶液
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：〔ふっ化カリウムとして〕ラットLD50=245 mg/kg bw(IUCLID(2000))に基づき、区分3とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算式(ATEmix=100 / ((ふっ化カリウムの濃度 / 245mg/kg))により分類した。 経皮：〔ふっ化カリウムとして〕EU分類はR24であることから、区分2または 3 相当であると推定されるが、データがないので分類できない。 吸入(粉塵)：〔ふっ化カリウムとして〕EU分類はR23であることから、区分2～3相当だが、データがないので分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	該当情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器：該当情報なし
生殖細胞変異原性	皮膚：該当情報なし 〔ふっ化カリウムとして〕in vitro変異原性試験：マウスリンフォーマアッセイで陽性、ラット骨髓培養細胞を用いる染色体異常試験で弱い陽性、ヒトリンパ球を用いる染色体異常試験で陰性の報告(NTP DB(Access on Jan. 2009)、ATSDR(2003))がされているが、in vivoのデータがなく『分類できない』とした。
発がん性	該当情報なし
生殖毒性	該当情報なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	急性：〔ふっ化カリウムとして〕魚類(ソウギョ)による96h-LC50=9.3mg/L (IUCLID 2000)であることから、区分2とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算法(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3≥25%により分類した。 長期間：〔ふっ化カリウムとして〕急性毒性区分2であり、無機物であることから急速分解性は無いと判断されることから、区分2とした。 水溶液は、ガイダンスに従い加算法(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3≥25%により分類した。
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし
土壤中の移動性	該当情報なし

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号
品名(国連輸送名)
国連分類
容器等級
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

—
—
—
—
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送
海上輸送
航空輸送
応急措置指針番号

消防法の規定に従う。
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
154

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
消防法
労働安全衛生法

第1種指定化学物質〔ふっ化水素の水溶性塩を0.1%以上含む〕
毒物及び劇物に該当しない。
危険物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2）〔弗素及びその水溶性無機化合物〕

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。